



出足早く「うつけん府中勝手連」

「都知事選呼びかけ人会」の翌日午前「革新都政をつくる府中の会」の緊急会議を開催しました。「府中市民連合」をはじめとする広範な市民運動グループ・個人、市議会の立憲勢力によびかけ「うつけん勝手連」で宇都宮さん勝利への取り組みをただちに開始することが確認されました。走りながら体制を確立しようと、ただちに宣伝行動を開始しました。

「うつけん勝手連」相談会を11日夕刻の宣伝後に開催、15日夕刻「うつけん府中勝手連」全体会。

13日には、激しい降雨のなか午前、府中駅けやき並木口で「うつけん府中勝手連」宣伝を行いました。今年92歳の武田正實高齢期連絡会会長先頭に12名が「希望のまち通信」を配布し、宇都宮けん



じさんと共に都政を転換しようと訴えました。

ハンドマイクで訴えたのは革新懇、社保協、新婦人、9条の会、原水協のみなさん。

午後は府中駅バスターミナルで共産党府中市委員会が東京民報号外「いまこそ命と暮らしを守る都政を」を配布し宣伝行動を行いました。



東久留米では、うつけん勝手連が連日宣伝行動

少人数学級を実現する都政を… 元同僚の教員と対話から

『休校になっていた学校も分散登校となり、20人以下の子どもたちと久しぶりに出会って、ああ、オレは教員しているんだなと実感した。子どもたち一人ひとりの表情がよく見える。一人ひとりの息遣いが聞こえるようだ。追い立てられることもなく、こちらがゆとりをもって接するので、やさしい気持ちになれる。こういう状態がいつまで続くかわからないが、教育とはこういうことなんだと今までの自分を振り返ることができた。格差と貧困がますます拡大している。父親の給料が減って、母親がやりくりで苦労している。子どもも心配している。そういう子どもを丸ごととらえていくことが必要だと痛感する。授業時数確保？、

プログラミング教育？、オリパラ教育？・・・。

そんなことより、今30人学級、いや20人学級を公約に掲げる候補者がいたら、教員は全員投票すると思うよ。宇都宮さん ぜひがんばって』と。

宇都宮けんじを都知事にする ナースファンクラブより

先輩にコロナ見舞いの電話『3月から街道歩きのツアーもカルチャー教室も閉鎖で自粛よ。買い物は4日に一回と清く正しく自粛なの。何が真実か解らなくて…検査もワクチンもまだだし、困ることばかりよね』と80歳台。都知事選の話でかえってこちらを心配されたが都立病院や公社病院を都直営で充実させる運動に関わって元気に誠実に頑張っていることを話して応援の輪を広げてと長電話。